

# ロビンソン ギャング Back Alley Gang ルール説明書

## ストーリー

とある街に小さな二つのギャング組織がありました。彼らは自らの利権のため、血で血を洗うような抗争を繰り返しています。

声の届かぬ薄暗い路地裏で戦力をぶつけ合う中、互いに多くの構成員がやられていき、戦果を挙げた者は我先にと戦場から離脱してしまいます。

果たしてこの路地裏での抗争を制するのは一体どちらの組織となるのでしょうか？

## ゲームの準備

プレイヤーに同じ色の1~8までのカードを配ります。これをそれぞれのプレイヤーの『手札』とします。

また自分の手前にカードを置く事の出来るスペースを確保します。これを『場』と呼びます。

最後に先手番プレイヤーを決定します。任意の方法で構いませんが、決まらない場合は「最近何かの勝負事に勝った人」にすると良いでしょう。

## ゲームの流れ

先手番プレイヤーは自分の手札の中から1~3枚を選び、裏向き状態で自分の場に伏せます。後手番のプレイヤーも先手番が選んだ様子を見て、同様の手順を行って下さい。次にカウントダウンによって互いにカードを1枚だけ公開します。その後カードが公開されたタイミングで効果に従って『脱落』の処理を行います。互いに効果の処理が終わった後、全てのカードを表返します。書かれた数字を比べ合い、その合計が大きかった方が勝利点を獲得します。勝利点獲得後、場にある勝利点以外のカードを手札に戻します。

この一連の動作を『ラウンド』と呼び、次のラウンドでは前回のラウンドの勝者が先手番となります。

この流れをどちらかのプレイヤーが勝利条件を満たすまで繰り返します。

## カウントダウン

互いにカードを伏せ終わったタイミングでカウントダウンを始めます。8から降順に互いに声を出し数字を言いながら、自分が伏せているカードの中で最も高い数字が発せられたタイミングで、その数字のカードを1枚だけ表向きにして公開します。同時にカードを公開することになった場合、先手番プレイヤーからカードの効果を使用して下さい。使用するカードの効果は最初に公開された1枚のみとなります。

## カードの脱落

カードの中には相手のカードを脱落させる効果を持つものがあります。脱落したカードは箱の中に仕舞って下さい。以降そのカードはゲームから除外され、使用することができなくなります。

## 勝利点の獲得

ラウンドの勝者となったプレイヤーは勝利点を得ます。敗者となったプレイヤーは勝者の場にあるカードを全て表にして勝利点とするカードを1枚選びます。勝利点となるカードは勝者の場の横に裏向きで置かれます。もし場からカードを選択できなかった場合、勝者の手札の中からランダムに1枚を選び勝利点とします。この時、手札に1枚もカードが無かった場合は勝利点を獲得する事ができません。

カードの合計数が同数の場合は引き分けとし、勝利点獲得の処理を行わずにカードを手札に戻します。引き分けの場合、次のラウンドでは先手・後手を入れ替え、ゲームを再開します。

## 勝利条件

先に勝利点のカードを3枚集めたプレイヤーがゲームの勝者となります。または次のターンで対戦相手がカードを出せない状態になった場合、対戦相手が前述の条件を満たしていなければ勝者となります。両者ともカードが出せなくなってしまった場合は、その時点で勝利点をより多く稼いでいたプレイヤーの勝利となります。同数の場合は引き分けです。

# 効果説明

## 1.メリケンサック



相手の場に7以上の数字のカードがあるなら、そのラウンドに勝利する。このカードの効果は他のルールよりも優先される。

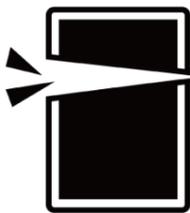
## 2.ナイフ



相手の場にある最も大きな数字のカードを1枚選び、脱落させる。

その後、このカードを脱落させる。

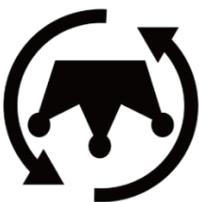
## 3.アックス



相手の場にある裏向きのカードを1枚選ぶ。

そのカードを脱落させる。

## 4.火炎瓶



このラウンドの勝利条件を『カードに書かれた数字の合計が小さい方』に変更する。

その後、このカードを脱落させる。

## 5.チャカ



4以下の数字を1つ宣言する。

相手の場にその数字のカードが伏せてあった場合、相手はそれを公開し脱落させる。

## 6.ショットガン



自分の場に裏向きで置いてあるカードを1枚公開する。

相手の場にそのカードと同じ数字のカードが伏せてあった場合、相手はそれを公開し脱落させる。

## 7.サブマシンガン

効果なし

## 8.ロケットランチャー



このカードが脱落した場合、このカードを出したプレイヤーはこのラウンド敗北する。